

目 次

本提言書策定の経緯	P 1
1. 社会的養護の現状	P3
2. 社会的養護自立支援の現状と課題	P4
(1) 現状	P4
(2) 課題	P5
①子どもの最善の利益の尊重について	P5
②対象者への情報提供について	P6
③里親委託の子どもたちについて	P6
④大学までの教育の無償化と働ける環境づくり	P6
⑤ケアリーバーのための医療支援	P7
3. 休眠預金モデル事業	
「With コロナにおけるケアリーバーへの伴走型支援事業」の実施	P8
(1) 事業実施に至る経緯	P8
(2) 実施しての課題	P10
4. 宮城県における社会的養育推進のための提言	P12
(1) 「子どもの人権、意見表明権、聴いてもらう権利」の尊重	P12
(2) 虐待防止活動と次世代育成	P13
(3) 家庭的養育の実現に必要なもの	P13
(4) 愛着障害についての研究と理解促進及び治療体制確立	P13
(5) 社会全体でケアリーバーを支援する機運の醸成	P14
(6) 児童相談所、児童養護施設職員の増員・待遇改善	P14
(7) 社会的養育のための協働と予算拡充	P14